ONKYO®

シアタースピーカーラック

CB-SP1200X

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容(左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに接続している機器の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 改造しない

分解禁止

●本製品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

●天面の通風孔が完全にふさがれてしまうようなサイズの製品を置かないでください。通風孔をふさぐと機器の内部に熱がこもり、火災の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

●本製品の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器はできるだけ置かないでください。こぼれて中に入った場合、製品を傷めるだけでなく、火災・感電の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

●プールサイドや浴場など水のかかるところや湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

●本製品は屋内専用に設計されています。窓際などでご使用の場合は、ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、製品を傷めるだけでなく、火災・感電の原因となります。

⚠注意

■ 中に物を入れない

●本製品の内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。製品を傷めたり、故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、本製品の内部に水や異物が入った場合は、すぐに接続している機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 設置上の注意

●傾いたところや不安定な場所に置かないでください。
●本製品は非常に重いので、持ち運びは必ず二人以上で行ってください。けがや腰痛の原因となることがあります。
●本製品を組み立てる際には、指など挟まないよう十分にご注意ください。
●移動させる場合は、サランネットやスピーカーユニットに手をかけないでください。故障やけがの原因となることがあります。
●移動させる場合は、接続している機器の電源スイッチを切り、スピーカーコードや接続コードをはずしてから行ってください。落下や転倒など思わぬ事故の原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災·感電の原因となることがあります。
●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

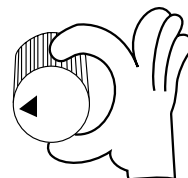
■ 接続について

●本製品を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。

■ 使用上の注意

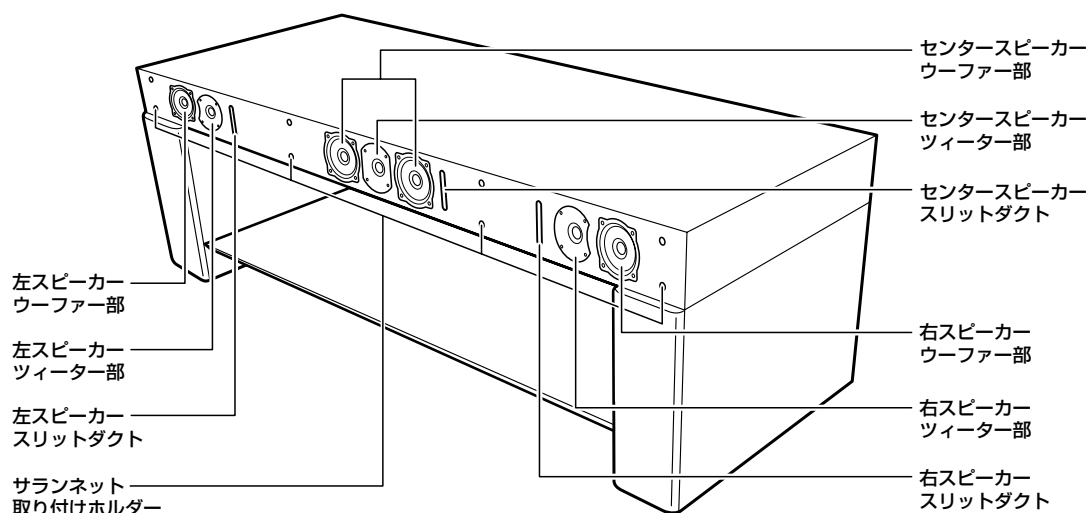
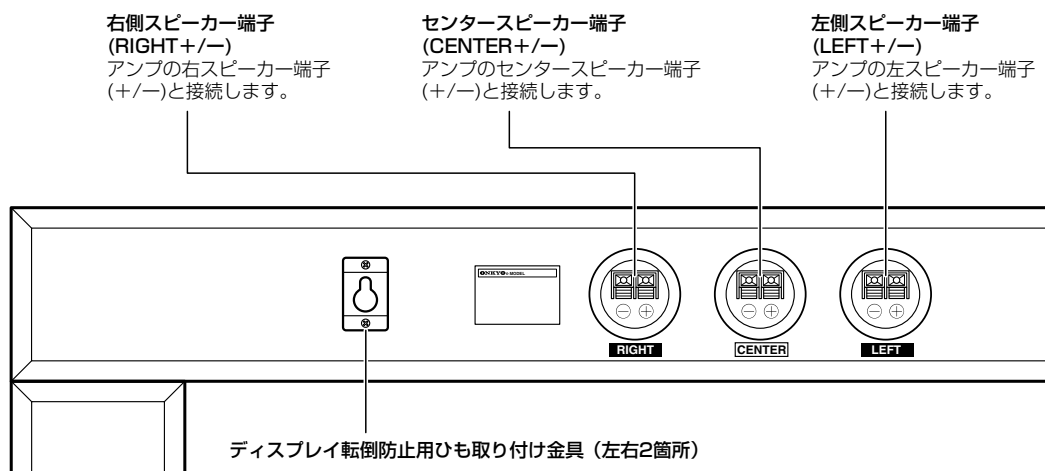
●電源を入れる前には接続しているアンプの音量（ボリューム）を最小にしてください。過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
●長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
●音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
●本製品の上に乗ったり座ったり、踏み台にしないでください。特にお子様にはご注意ください。また、本体には100kg、棚板には50kg以上のものを載せないでください。破損や故障の原因となります。
●キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品をスピーカー部に近づけないでください。スピーカーの磁気の影響で使えなくなったり、データが消失することがあります。

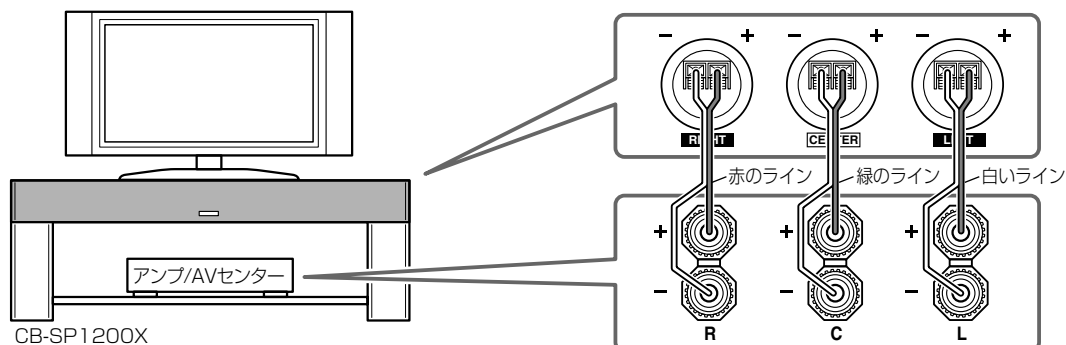
音のエチケット

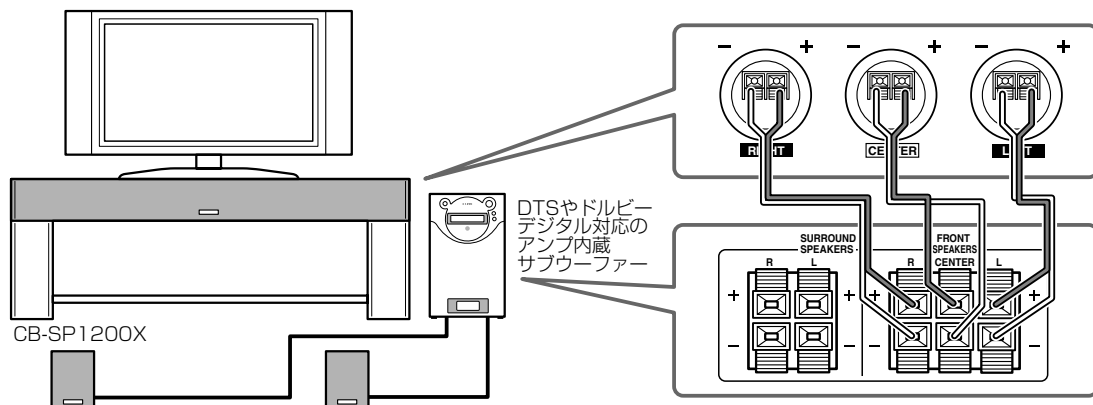
楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

主な特長

■ プラズマや液晶など薄型ディスプレイの置台として最適なホームシアターラック一体型スピーカーシステム（フロントL/R、センタースピーカー内蔵）（特許出願済）
■ フロントL/R、センタースピーカーのすべてのスピーカーユニットを同一線上（水平）に配置することにより、きわめて自然な音の移動感を実現（特許出願済）

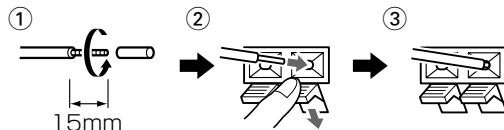
各部の名前

正面図（サランネットを外したところ）

背面図

接続のしかた

AVアンプやAVセンターのスピーカー端子と接続する

アンプ内蔵のサブウーファーと接続する

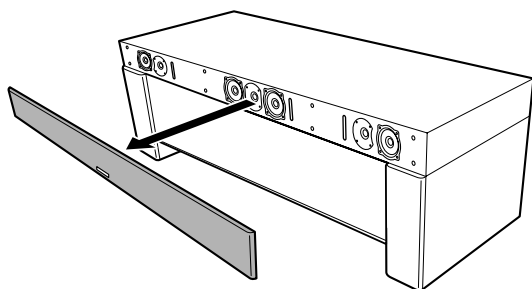
オンキヨー製デジタルサラウンドシステムDHT-SR1（サブウーファーおよびサテライトスピーカーのセット）などと組み合わせて5.1チャンネルとして使用することができます。

■ スピーカーの接続のしかた

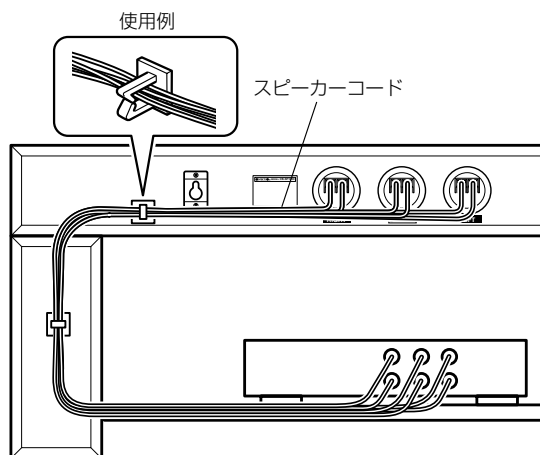
- スピーカーコードを接続するときは、アンプなど接続する機器の音量は最小にし、電源プラグを抜いた状態で行ってください。
- 本製品のスピーカーの定格インピーダンスは6Ωです。接続するアンプはそれに適したものをご使用ください。
- スピーカー端子「RIGHT（ライト）」は、アンプのR（右）スピーカー端子に接続してください。同様に、「CENTER（センター）」はセンタースピーカー端子（CENTER）に、「LEFT（レフト）」はL（左）端子に接続してください。
- 本製品のスピーカー端子のプラス（＋）とアンプのプラス（＋）を、スピーカー端子のマイナス（－）とアンプのマイナス（－）を接続します。付属のスピーカーコードに色のついたラインが入っている方を（＋）側に接続してください。
- 組み合わせや配線などによって付属のスピーカーコードが長すぎる場合は、ニッパーなどで適当な長さに切ってお使いください。また、先端のビニールカバーをはずすときは、しん線部を傷つけないようにご注意ください。

① ビニールカバーをはずし、スピーカーコードのしん線部をよじる
② レバーを押しながら、穴にコードのしん線部を差し込みます。しん線部がわずかに外に出ているようにしてください。
③ 指を離すとレバーが戻ります。

- スピーカーコードのしん線はよくよじり、確実に端子に接続してください。
- スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。
- スピーカーコードの＋、－がショート（接触）していないか十分に確認してください。ショートさせるとアンプが故障する場合があります。
- スピーカーコードの＋、－（極性）、L（左）R（右）を間違えないでください。極性を間違えると、低音感が損なわれて音の定位が定まらなくなります。

サランネット脱着のしかた

本体前面のスピーカー部にはサランネットが付いています。サランネットを取り付けたり、はずしたりするときは次のように行ってください。

1. 両手でサランネットを持ちます。
2. サランネットの片方の端を軽く手前に引っ張ってはずします。
3. 同じようにサランネットのもう一方の端を手前に引っ張ります。
4. 中央付近を持ってサランネットを本体からはずします。
5. 取り付けるときは、サランネットの四隅にあるピンを本体のサランネット取り付けホルダーに合わせて押し込みます。
   次に中央部に4ヶ所あるピンのあたりを軽く押さえてはめ込んでください。

スピーカーコードホルダーの使いかた

本製品には、背面のスピーカーコードをまとめるためのスピーカーコードホルダーが4個付属しています。
スピーカーコードホルダーには両面テープがついていますので、適当な位置に貼り付けてご使用ください。

取り扱い上のご注意

■ ブラウン管使用のカラーテレビやパソコンとの近接使用について

一般にカラーテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
本製品は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合はテレビの位置を変えてみてください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

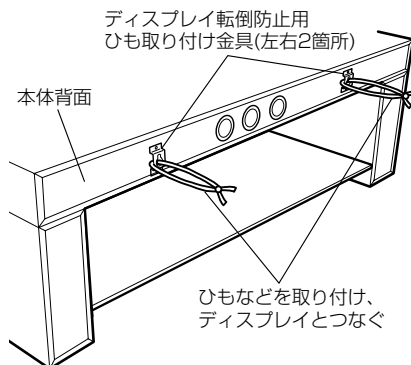
■ お手入れについて

製品の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。
スピーカーのサランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るかブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

■ 取り扱い上のご注意

本製品は通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。
① FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ アンプが発振しているとき
⑦ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

■ 転倒防止について

本体背面にディスプレイ転倒防止用のひも取り付け金具が左右2箇所にあります。この金具にじょうぶなひもなどを取り付け、ディスプレイ本体とつないでください。より安全な設置をすることができます。

お知らせ

ディスプレイのゴム足などの跡が天面に残ることがあります。
あらかじめご承知おきください。

主な仕様

■ フロントスピーカーシステム

形式：2ウェイバスレフ型
定格インピーダンス：6Ω
最大入力：40W
定格感度レベル：79.5dB/W/m
定格周波数範囲：50Hz～100kHz
クロスオーバー周波数：7kHz
キャビネット内容積：3.8ℓ
使用スピーカー：ウーファー　8cm　A-OMFコーン型
ツィーター　2cm　バランスドーム型
ターミナル：プッシュ式
その他：防磁設計（JEITA）

■ センタースピーカーシステム

形式：2ウェイバスレフ型
定格インピーダンス：6Ω
最大入力：40W
定格感度レベル：83dB/W/m
定格周波数範囲：50Hz～100kHz
クロスオーバー周波数：7kHz
キャビネット内容積：7ℓ
使用スピーカー：ウーファー　8cm　A-OMFコーン型
ツィーター　2cm　バランスドーム型
ターミナル：プッシュ式
その他：防磁設計（JEITA）

■ 総合

外形寸法：1200(幅)×430(高さ)×450(奥行き)mm(サランネット、ターミナル突起部含む)
質量：28kg

仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

付属品

（　）内の数字は数量を表しています。

棚板用支柱（1）
棚板（1）
スピーカーコード（緑、赤、白）2.5m（3）
スピーカーコードホルダー（4）
組立説明書（1）
取扱説明書（本書1）
保証書（1）
オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内（1）

修理について

■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お 名 前
- ▶ お 電 話 番 号
- ▶ ご 住 所
- ▶ 製 品 名　CB-SP1200X
- ▶ で き る だ け 詳 し い 故 障 状 況

■ オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　年　　月　　日
ご購入店名：
Tel.　　（　　）
メモ：

ONKYO®
オンキヨー株式会社
本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE
http://www.jp.onkyo.com/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：カスタマーセンター
ナビダイヤル ☎ 0570(01)8111（全国どこからでも市内通話料金で通話いただけます）
または ☎ 072(831)8111（携帯電話、PHSから）

G0510-1

SN 29344147

29344147